

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
(仮称)第一小中一貫校

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
 評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.3)

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								3.9
Q1 室内環境			0.40					3.6
1 音環境		3.1	0.15					3.1
1.1 騒音		3.0	0.40					
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.3	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
2 界壁遮音性能	TLd40以上の確保(教室間間仕切り等)	4.0	0.30	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		3.6	0.35					3.6
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温設定		3.0	0.60	3.0	-			
2 負荷変動追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	-	3.0	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式	交流サロンに、床輻射冷暖房方式、暖気循環ファンの設置	5.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.7	0.25					3.7
3.1 昼光利用		4.6	0.30					
1 昼光率	普通教室において昼光率=2.8(別紙計算書)	5.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	教室棟1、3階教室におけるハイスサイドライト採光	4.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30					
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	カーテン、又はブラインドと、コンクリート底の組合せ	4.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度		3.0	0.15					
1 照度		3.0	1.00	3.0	-			
2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境		4.1	0.25					4.1
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	計画通知におけるF 建材リストによる。	5.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レンオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.6	0.30					
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積1/15以上(別紙計算書)	4.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	小学校・中学校用途につき、敷地内の全面禁煙	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能			0.30					3.4
1 機能性		3.4	0.40					3.4
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準、京都府福祉のまちづくり条例適合	4.0	1.00	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30					
1 広さ感・景観		1.0	0.50	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-			
3 内装計画	内装計画説明書、内装木質化(腰壁、木床)、交流サロン照明、模型検	5.0	0.50	3.0	-			
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.6	0.31					3.6
2.1 耐震・免震		3.8	0.48					
1 耐震性	建築基準法に定められた1.25倍の耐震性を有する	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33					
1 躯体材料の耐用年数	等級2(鉄骨、コンクリート)の確保	4.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	11~20年未満	4.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房屋外ダクトにSUSダクトの採用	4.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			3.8	0.19		
1	空調・換気設備	運転管理システム有、エリアごとの発停区分、配管・ダクトの耐震	5.0	0.20		
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用、受水槽は2槽分離、雨水の再利用	4.0	0.20		
3	電気設備		3.0	0.20		
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		
5	通信・情報設備	防災無線設備、光ケーブル設置、地下ビッドに、排水設備(ポンプ)設	4.0	0.20		
3 対応性・更新性			3.2	0.29		3.2
3.1 空間のゆとり			3.8	0.31		
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 < 0.1	5.0	0.40	3.0	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		
6	バックアップスペース		3.0	0.22		
Q3 室外環境(敷地内)				0.30		4.8
1 生物環境の保全と創出		ランドスケープのコンセプト、いいの園、芝生サブグラウンド等提	5.0	0.30		5.0
2 まちなみ・景観への配慮		黄檗山の緑の連続性の継承、万福寺参道の石積の継承など景観	5.0	0.40		5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30		4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	設計段階の教職員、生徒らのワークショップ、建設段階陶板アート	5.0	0.50		
3.2	敷地内温熱環境の向上	ピロティ・スロートストリート等自然通風、屋上に室外機、排気塔の集約	4.0	0.50		
LR 建築物の環境負荷低減性						4.0
LR1 エネルギー				0.40		4.0
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30		3.0
2 自然エネルギー利用			4.5	0.20		4.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	教室廊下のハイサイドライト、カーテンウォールの交流サロンによる地下	5.0	0.50		
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電システム20kwの設置	4.0	0.50		
3 設備システムの高効率化		ERR=46.8	5.0	0.30		5.0
4 効率的運用			3.5	0.20		3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50		
4.2	運用管理体制	環境サインで消費電力・発電量・気温の見える化、職員室への端末	4.0	0.50		
LR2 資源・マテリアル				0.30		4.2
1 水資源保護			3.8	0.15		3.8
1.1 節水		節水器具(水栓、便器)、音姫	4.0	0.40		
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.6	0.60		
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用システム(灌水、トイレ洗浄)の採用	4.0	0.67		
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減			4.3	0.63		4.3
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント(地中梁)、電炉鋼材(鉄骨柱・梁部材)	5.0	0.20		
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	エコケーブル、再生木デッキ材、ビニル床シート(G購入法適合)	5.0	0.20		
2.5	持続可能な森林から産出された木材	国産木材(杉小幅板、ひのき小幅板)内装積極的採用	5.0	0.05		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	純ラーフ構造による乾式間仕切り化、教室廊下間は、パーティション引込	5.0	0.24		
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22		4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	主要なフローリング、壁の塗装、ビニル系床材、壁クロス接着剤に	5.0	0.32		
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68		
1	消火剤	ハロン消火剤の使用なし	4.0	0.33		
2	断熱材	ノンフロン型ウレタン吹付材の使用	5.0	0.33		
3	冷媒		3.0	0.33		
LR3 敷地外環境				0.30		4.0
1 地球温暖化への配慮		躯体のリサイクル材利用、太陽光発電等取り組みによる	5.0	0.33		5.0
2 地域環境への配慮			3.8	0.33		3.8
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		
2.2	温熱環境悪化の改善	積極的な緑化、芝生グラウンド、メイングラウンドの保水性舗装採	4.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.2	0.25		
1	雨水排水負荷低減	雨水の都市下水への接続による流出負荷抑制	4.0	0.25		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		
3	交通負荷抑制	地下駐車場、荷捌きヤード、ごみ収集車ヤード、出庫注意表示	5.0	0.25		
4	廃棄物処理負荷抑制	厨介の生ごみ処理機による減量化、ごみの分別・有価物回収	5.0	0.25		
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
1	騒音		3.0	0.33		
2	振動		3.0	0.33		
3	悪臭		3.0	0.33		
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40		
1	風害の抑制		3.0	0.70		
2	日照障害の抑制		3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策、夜間照明のタイマー消灯、歩道へ向け街路灯設置	5.0	0.70		
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		